



令和3(2021)年3月18日

報道関係各位

栃木県

サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社

**栃木県とサントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社が
「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結**

栃木県は、栃木県プラスチック資源循環推進条例に掲げる「プラスチックを資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現するとの理念」の実現に向け、栃木県庁におけるペットボトルの水平リサイクルを推進するため、サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社と「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結し、3月18日、栃木県庁において締結式を行いましたのでお知らせします。

記

1 背景

栃木県では、県内全市町と「栃木からの森里川湖（もりさとかわうみ）プラごみゼロ宣言」を行い、不必要な使い捨てプラスチックの使用削減、再生材や生分解性プラスチックの利用促進、プラスチックごみのリサイクルと適正処理の徹底など、プラスチックとの上手なつきあい方を発信し、プラスチックごみゼロに向け取り組んでいます。

サントリーグループは、「水と生きる」をステークホルダーとの約束に掲げ、「自然環境の保全・再生」、「環境負荷低減」に加え、次世代に向けた環境教育「水育」など、サステナビリティ経営を推進しています。容器包装の分野では、2011年には、協栄産業株式会社と共同で、国内で初めてペットボトルの「ボトル to ボトル」リサイクルシステムを開発。さらにリサイクルの一部工程を省くことで、環境負荷低減と再生効率化を同時に実現する「F to P ダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて開発するなど、環境負荷の少ないペットボトル開発やリサイクルシステムの構築に継続して取り組んでいます。2019年に「プラスチック基本方針」掲げ、2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルをリサイクル素材と植物由来素材に100%切り替え、化石由来原料の新規使用ゼロの実現を目指しています。

この度、両者の協働により、プラスチックを資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現するとの理想の実現に向け、「栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定」を締結することといたしました。

2 協定内容

対 象:本庁舎(南別館等含む)で勤務する職員等が排出するペットボトル(年間見込約3,500kg)

※ 自動販売機設置者が設置するリサイクルボックスで回収するものを除く

取組内容:サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社が上記ペットボトルを引き取り、ペットボトルに再生し、再度同社が製造・販売する製品の容器として使用することによってペットボトルの水平リサイクルを実現する。

【本件に関するお問合せ先】

栃木県	環境森林部 廃棄物対策課 企画推進担当	028-623-3228
-----	---------------------	--------------

栃木からのボトル to ボトル リサイクル・パートナーシップ協定書

栃木県（以下「甲」という）と、サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社（以下「乙」という）は、栃木県プラスチック資源循環推進条例に掲げる「プラスチックを資源として適正に循環する体制を築き、持続可能な循環型社会を実現するとの理念」の実現に向け、栃木県庁におけるペットボトルの資源循環の推進に関し、以下のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲と乙が協力して、栃木県庁舎（以下「庁舎」という。）において排出される使用済みペットボトルを、乙（乙の指定する者を含む。次条において同じ。）が回収し、安定的にペットボトルとして再資源化すること（以下「本事業」という。）により、栃木県における持続可能な循環型社会形成の推進に資することを目的とする。

（役割）

- 第2条 甲は、庁舎から排出されるペットボトルを、乙の指示するところにより分別を行い、無料又は有料で乙に引き渡すものとする。
- 2 乙は、前項の規定に基づき引渡しを受けたペットボトル又はこれと同等量の使用済みペットボトルを原材料としてペットボトルを製造するものとする。
- 3 乙は、前項の規定に基づき製造したペットボトルを、乙が製造・販売する製品の容器として使用するものとする。

（秘密保持義務）

- 第3条 甲及び乙は、本協定に関連して知り得た相手方の秘密については、相手方の事前の承諾なくして第三者（乙のグループ会社を除く。）に開示・漏洩してはならず、本協定書の遂行以外の目的のために使用してはならない。
- 2 前項の規定は、本協定終了後も有効に存続するものとする。

（有効期間）

第4条 本協定は、令和3(2021)年4月1日から令和4(2022)年3月31日までとする。ただし、期間満了日の3箇月前までに甲乙いずれかより別段の意思表示がない限り、本協定書は、さらに1年間自動的に更新されるものとし、以後も同様とする。

（解除）

- 第5条 次の事由により本事業の継続が困難と判断される状況が発生した場合は、甲又は乙は、本協定を解除することができる。
- (1) 第2条第1項の規定に基づき甲が乙に引き渡す使用済みペットボトルのうち一定量以上の品質が乙の指示に反して本事業に適さず、本協定に基づく取引を継続することが困難と判断した場合

(2) 本事業において回収される使用済みペットボトルの買取単価の設定について、他自治体が行うペットボトルリサイクル事業と比較して、甲又は乙にとって著しく経済的に不利益なことが明白となった場合

(協議等)

第 6 条 本協定書に定めのない事項又は本協定書の各条項の解釈に疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議し、これを解決するものとする。

本協定の締結を証するため、本書 2 通を作成し、甲乙それぞれ記名押印の上、各その 1 通を保有する。

令和 3 (2021)年 3 月 18 日

甲 栃木県宇都宮市塙田一丁目 1 番 20 号
栃 木 県
知 事

乙 東京都港区台場二丁目 3 番 3 号
サントリーMONOZUKURI エキスパート株式会社
代表取締役社長

栃木県プラスチック資源循環推進条例を背景に

栃木からの ボトル to ボトル リサイクル パートナーシップ協定に基づく 活動

サントリーモルティング(株)

- 1 -

2021年協定締結

3/18協定締結



4/1回収開始

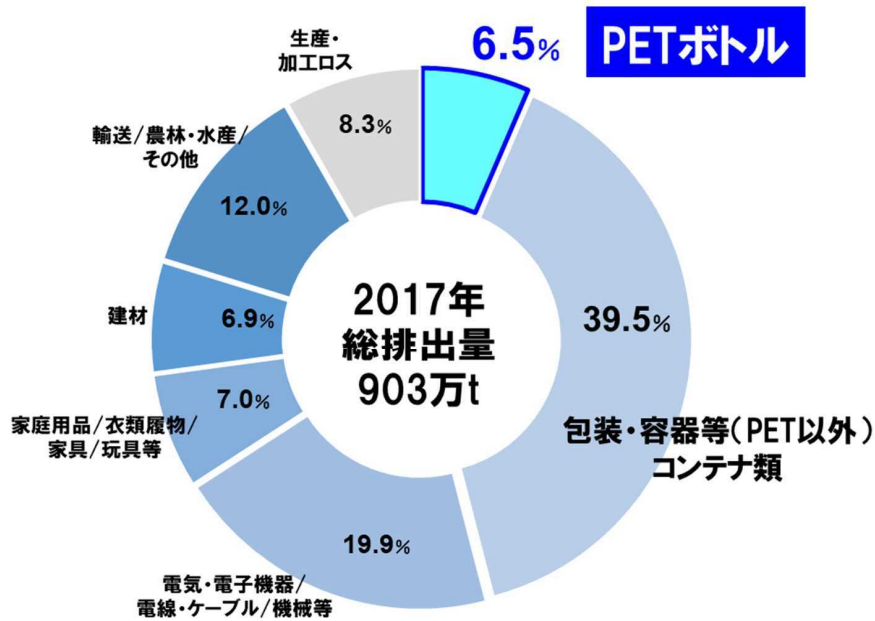
- 県庁から開始
- 宇都宮短期大学附属高校など学校等へ展開中
- 週各50～80kgの回収実績
- 市役所、学校、他へ提案中



県庁から排出されるペットボトルとキャップ回収

- 2 -

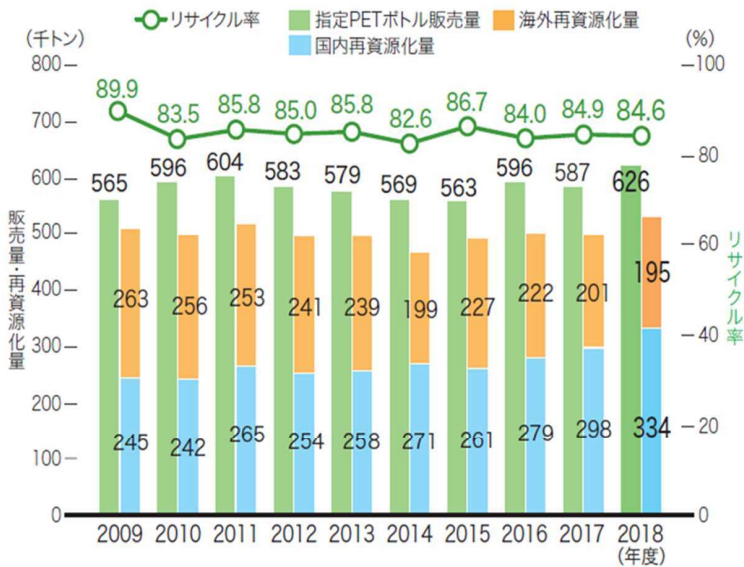
廃プラスチック総排出量の内訳



※出典:
(一社)プラスチック循環利用協会 プラスチックリサイクルの基礎知識2019
PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2018

廃プラスチックの中でペットボトルの割合は6.5%です。

日本のペットボトルリサイクルについて



※出典:
PETボトルリサイクル推進協議会 年次報告書2019

回収率

91.5%

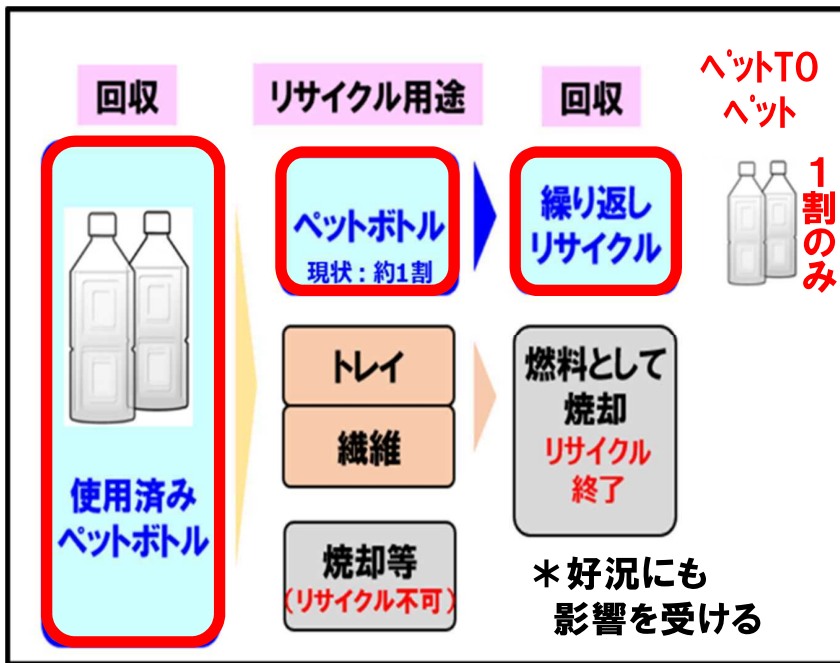
リサイクル
比率

84.6%

熱回収を含めると約98%が有効利用されている

ペットボトルはリサイクルの優等生です。

ボトルからボトルへのリサイクルについて



▶ **半永久的にリサイクル**

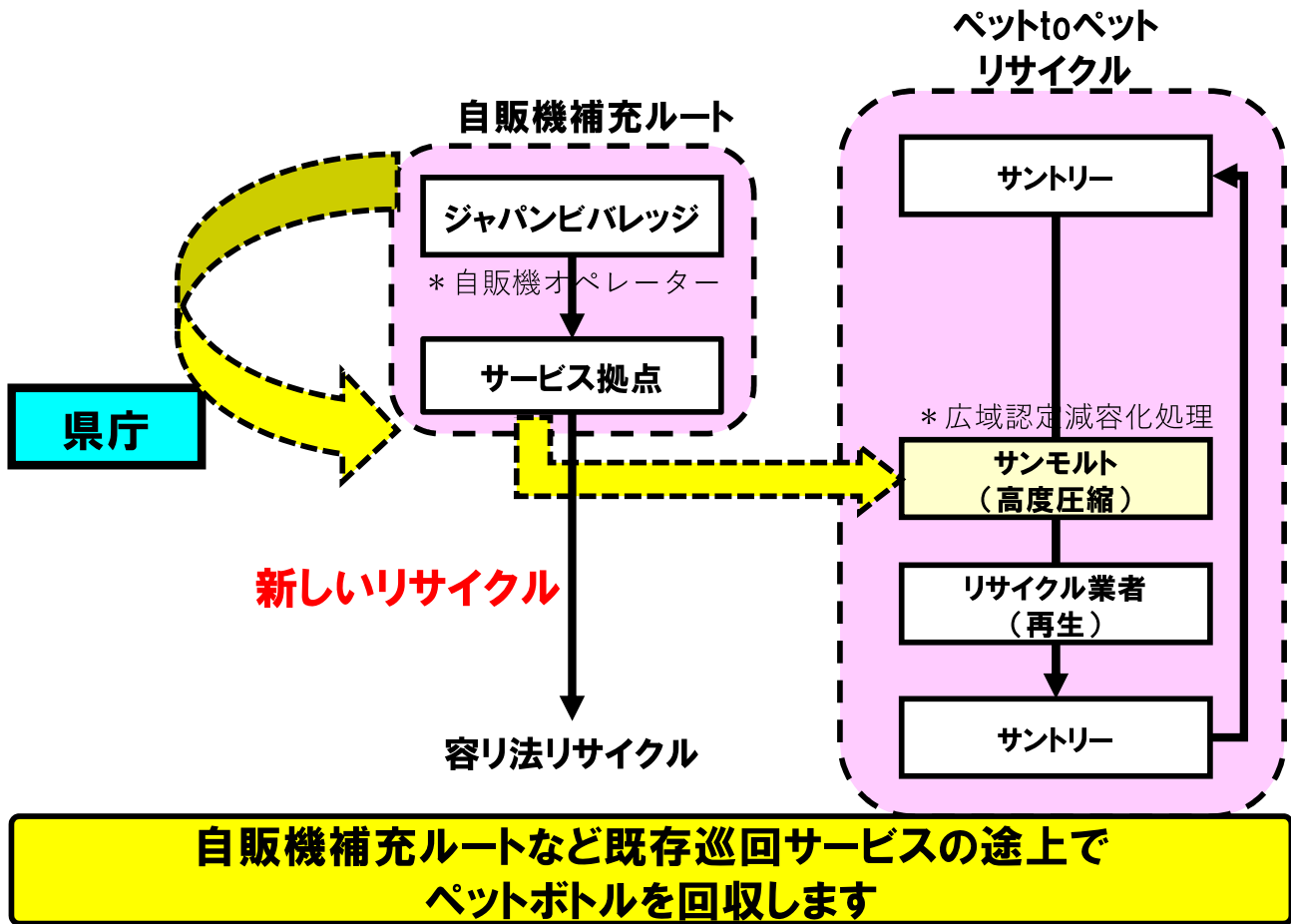
ペットボトルを回収し、ペットボトルに戻すことでより持続可能な社会の実現に近づくと考えています

サントリーは、2030年までに、100% 「また会えるボトル」に目標設定

水平リサイクル



プラスオンのコストをなるべくかけないリサイクル発想



- 7 -

分別回収の啓蒙も



キャップを外すことでボトルを
圧縮でき体積を縮小できる

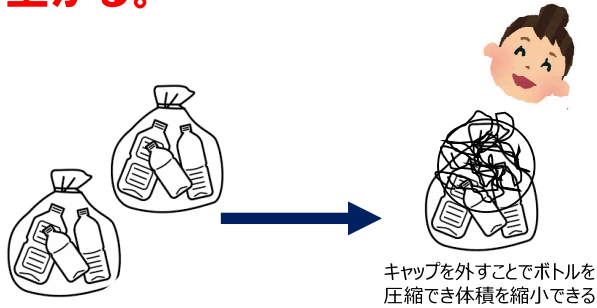


キャップをはずす、中をすすぐ、つぶすことで再生コストが下がります

- 8 -

キャップを外す意味もご理解いただきます

キャップを外すことでごみの体積が半分になりゴミの**回収効率が上がる**。



ペットボトルが跳ね返り作業員が、怪我をしたり、飲料入りのボトルが破損し、床などを汚してしまうのを防ぐ。



ゴミ収集車稼働効率向上による**CO2削減**、作業員のケガ、トラブルリスクの軽減等にも役立ちます

- 9 -

はずしたキャップは、ワクチンに

世界の子どもにワクチンを「ワクチンキャップ運動」

お受け取りしたキャップがワクチンに生まれ変わります

世界でワクチンがないために命を落とす子どもは、1日4,000人とも言われています。

ワクチンキャップ運動とは、毎日ペットボトルを利用する皆さんが主体となり、キャップを集めることで、海外の子供達にワクチンを提供しようというボランティア活動です。キャップは私共リサイクル会社で購入、ワクチンを購入するお金として認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会に寄付します。



クルを通じ、2008年よりこの運動に協力させて頂いております。皆さんの善意を確実にワクチンに変え、世界の子供たちに届けるため参ります。

なところから、どなたでも始めることができるこの活動で、ワクチンさえあれば助かる「ちいさな命」を救ってください。

JCVより受領書
発行

JCV:世界の子供にワクチンを 日本委員会

社会貢献活動の一環として、ワクチンキャップ運動と連動します

- 10 -